

年 月 日

糖尿病代謝内科／免疫・内分泌内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「腹部 CT とアンケートを利用したインスリンボールの調査」 への協力のお願い

糖尿病代謝内科／免疫・内分泌内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021 年 11 月 1 日～2022 年 10 月 30 日の間に、当院において腹部 CTを受けた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

インスリン注射を同じ場所に繰り返すことで、皮下に硬結が生じ得ます。これが、いわゆる“インスリンボール”です。本研究は、インスリンボールの発生頻度を明らかにすることを1つの目的としています。そこで、インスリン治療及び腹部 CT を受けられた 20 歳以上の方を対象とし、CT の画像データを利用してインスリンボールの発生頻度を検討します。

研究に用いる試料・情報の項目：

(1) 被験者背景

- ・人口統計学情報：年齢、性別
- ・生活習慣・嗜好：喫煙、飲酒、病歴、治療歴、使用薬

(2) 臨床検査

身長・体重、体組成、握力、血圧、血算、血糖値、HbA1c、AST、ALT、 γ GTP、UA、BUN、CRE、Total-C、HDL-C、TG、尿アルブミン定量または尿蛋白定量

(3) 腹部 CT

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

所属：岐阜大学大学院医学系研究科 内科学講座糖尿病・内分泌代謝内科学分野

職名：教授 氏名：矢部 大介

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科内科学講座糖尿病・内分泌代謝病態学分野

担当：高橋 佳大

Tel：058-230-6377

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp